

平成22年 第12回  
教育委員会定例会会議録

平成22年12月14日（火）

港区教育委員会

港区教育委員会会議録

第2315号

平成22年第12回定例会

日 時 平成22年12月14日(火) 午後3時00分 開会

場 所 教育委員会室

「出席委員」	委員長職務代理者	半 田 吉 恵
	委 員	小 島 洋 祐
	委 員	澤 孝一郎
	教 育 長	高 橋 良 祐

「説明のため出席した事務局職員」	次 長	小柳津 明
	庶 務 課 長	伊 藤 康 博
	教育政策担当課長	山 本 隆 司
	学校施設計画担当課長	村 上 利 雄
	学 務 課 長	新 宮 弘 章
	生涯学習推進課長	大 竹 悦 子
	図書・文化財課長	沼 倉 賢 司

「書 記」	庶務課庶務係長	岡 田 圭 子
	庶務課庶務係	遠 藤 由 香 里

「議題等」

日程第1 教育長報告事項

- 1 港区立幼稚園園児募集結果について
- 2 港区立麻布運動場の休場について
- 3 港区総合型地域スポーツ・文化クラブ体験イベント（三田地域）の実績について
- 4 生涯学習推進課の11月事業実績と12月事業予定について
- 5 生涯学習推進課の各事業別利用状況について
- 6 図書館・郷土資料館の11月行事实績と12月行事予定について
- 7 図書・文化財課の11月分利用実績について
- 8 12月指導室事業予定について

「開 会」

○半田委員長職務代理者 皆さん、こんにちは。ただいまから平成22年第12回港区教育委員会定例会を開催いたします。

港区教育委員会教育委員長の職につきましては、当分の間、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項の規定に基づき、私が職務代理者として務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、本日は、加藤指導室長から所用により欠席のご連絡をいただいておりますので、ご承知おきください。なお、新宮学務課長は、まちづくり・子育て等対策特別委員会の出席のため、遅れて参りますので、ご承知おきいただきたいと思います。

それでは、日程に入ります。

(午後3時00分)

「会議録署名委員」

○半田委員長職務代理者 本日の署名委員は小島委員にお願いいたします。

## 日程第1 教育長報告事項

### 1 港区立幼稚園園児募集結果について

○半田委員長職務代理者 日程第1、教育長報告事項に入ります。

まず初めに「港区立幼稚園園児募集結果について」。庶務課長、説明をお願いいたします。

○庶務課長 学務課長に代わりまして私から説明をさせていただきます。

教育委員会資料ナンバー1をご覧ください。平成23年度、来年度4月入園の幼稚園の園児募集結果でございます。

募集の結果、抽選になりました園につきましては、資料の一番右側の抽選の有無のところに「抽選」と記載してある園になります。ご覧いただきますとわかりますとおり、3年保育を実施している全園において抽選となっております。

3歳児の募集についてでございますが、芝浦幼稚園が定員25名に対し74名の申し込みがございました。続きまして高輪幼稚園につきましては、定員20名のところ37名の申し込み、白金台幼稚園につきましては、定員30名のところ60名の申し込み、港南幼稚園につきましては、定員25名に対し51名の申し込み、中之町幼稚園につきましては、20名の定員に対し61名の申し込み、にじのはし幼稚園が、20名の定員に対しまして31名の申し込みになってございます。

また、4歳児についてでございますが、一部に定員を超えて応募のあった幼稚園がございます。まず白金台幼稚園、定員25名のところ32人の応募がございました。それから港南幼稚園、こちらは定員50名のところ51名の応募。さらに、中之町幼稚園につきましては、定員5名のところ8名の応募がございました。

ちなみに、3年保育の全園の結果でございますが、定員140名のところ314名の応募がござ

いまして、倍率といたしまして2.24倍になってございます。これは昨年でございますけれども、定員65名に対し179名の応募がございまして、倍率が2.75となっております。それに比べれば若干低くなったとはいえ、依然として2倍を超える応募がございました。

一方、4歳児でございますが、定員380名のところ261名の応募がございまして、倍率といたしましては0.69倍となっております。ただし、先ほどご説明申し上げたとおり、園によっては定員を超える応募がございました。定員を超えた4歳児の扱いにつきましては、この段階で入園できないと5歳児の1年保育というのは通常余り考えにくいところがございます。そのことを重く受けとめまして、4歳児につきましては弾力的な措置といたしまして、応募のあった全員の方を受け入れることといたしました。

それからこの間、抽選そのものは12月3日に行いましたが、応募の締め切り以降、抽選までの間に保護者の方からの問い合わせ、あるいはご意見等があったものを若干ご紹介させていただきますと、まず白金台幼稚園、4歳児でございますけれども、定員を超える応募があったのを見て「目の前の幼稚園に通えないのはおかしいではないか」とか、あるいは「兄弟枠、地域枠、こういったものの設定をする必要があるのではないか」といったようなご意見をいただいております。

それから青南幼稚園でございますけれども、こちらの方は4歳児、定員に満たない応募だったのですが「結果を早く教えてください」という問い合わせがございました。

やはり白金台幼稚園の方ですけれども、4歳児が抽選になるというのは、この段階では定員を超えたら抽選ですよということを公表しておりましたので、「4歳児が抽選になるのはおかしいではないか」といったご意見をいただいております。

それから、先ほど言いましたように12月3日の抽選結果以降でございますけれども、「港南幼稚園について25人のところ51人の応募があった。2クラスにすることは考えないのか」といったご意見がございました。

抽選の結果、入園できなかった3歳児をお持ちの保護者から合わせて5～6人の方からいただいたご意見、共通したご意見でございますが、「4歳児になったときに確実に幼稚園に入れるのか、それが非常に不安で困る。何とかしてほしい」といったご意見をいただいております。

また、白金台幼稚園で抽選前に「4歳児の抽選があるのはおかしい」といったご意見をいただいた方が、結果として定員を超えて受け入れるということがはっきりした段階で、逆に感謝のお電話をいただいております。以上でございます。

○半田委員長職務代理者 ただいまの説明に対してご質問はございますでしょうか。

○澤委員 今回新たに3園が3歳児募集ということで、それがどの園も2倍を超える、特に芝浦幼稚園、中之町幼稚園は3倍ということです。これは常に教育委員会で話が出ていますけれども、これだけ3年保育に対する区民のニーズが強いということなので、私どもの3年保育を充実するという方向は間違っていなかったというところもおかしいのですけれども、正解であったと。ただ、中之町幼稚園が相変わらず3倍を超えるような希望が出たということで、この辺は近くの幼稚園で3年保育

を実施することによって少しでも緩和させられたらいいのかなというようには思います。いずれにしても本当に3年保育に対する区民のニーズを改めて強く感じました。

○**庶務課長** 今ご指摘いただいた中之町幼稚園の地域別の応募状況ですが、赤坂地域から24人、六本木地域から14人、それから青山地域から9人、あと西麻布、南麻布、東麻布と若干範囲は広いのですが麻布地域から11人、芝公園、東新橋、この地域からも3人の方の応募がございました。

○**小島委員** 澤委員のおっしゃったのに関連なのですが、このところ事務局に頑張ってもらっていて、3年保育を行う園が増え、また、定員も少しずつ増えているということで、これまでの努力に対しては非常に感謝したいと思っております。

ただ、やはり区民のニーズを見てみると、子どもたちの幼児教育を受ける権利という面から考えると、まだもう少し増えてもいいのではないかと。私立幼稚園側との合意が大事なことであることは良く分かっているのですが、もう若干増えても私立幼稚園の経営を圧迫する事態には至らないと考えられるので、引き続き3年保育を新たに実施する園とプラス3歳児の定員をさらに増やして、区民の皆様の公立幼稚園に対する希望にこたえていかなければと考えます。

○**庶務課長** 現在までのところ、平成24年度からさらに青南幼稚園が定員20名で新たな3年保育の実施と、高輪幼稚園の定員を今年は20名の設定でさせていただきましたが、24年は30名の枠の拡大、さらに港南幼稚園につきましても現在の25名のところを5名ふやして30名、定員の枠の拡大をして実施をするというところまでは決まっておりますが、これ以上の拡大については、改めて検討させていただけたらと思っております。

○**小島委員** 赤羽幼稚園は物理的に部屋が確保できないのではというお話があったのですが、3歳児は赤羽幼稚園と、あとどこか未定のところがありましたか。

○**庶務課長** 24年度に実施する青南幼稚園を除いて、3年保育を実施する予定が現在のところないのは、今ご指摘いただいた赤羽幼稚園、それから麻布幼稚園、南山幼稚園、本村幼稚園、三光幼稚園、麻布地域は私立幼稚園が比較的集中しているといった地域事情もございまして、あとは施設的になかなか実施が難しい園もございます。

○**小島委員** 先ほど麻布幼稚園で実施できれば中之町幼稚園の倍率が少し下がるのではということでしたが。

○**澤委員** 庶務課長の話ですと麻布から11名という、かなりの数です。中之町幼稚園の場合には青南幼稚園で24年4月から3年保育開始ということで若干緩和されるわけでしょうが、芝浦幼稚園はどうしようもないですか。3倍近くの今回の競争率、これの定員増とか、そういうのは現在は考えていないのですか。

○**庶務課長** 今回の芝浦幼稚園の応募状況を見まして、現在のところ芝浦幼稚園での定員拡大という予定はないのでございますけれども、その辺につきまして再度検討する必要があるのかなとは考えてございます。ちなみに芝浦幼稚園の場合、芝浦海岸地域、要するに地元からの応募が60名ございます。

○**小島委員** だから、芝浦と港南は、そういう意味ではほぼ似たような背景にあるのだろうと思う

のです。芝浦幼稚園の定員だけではなくて、港南幼稚園の定員も同じように配慮しないとイケないのではないのでしょうか。

○庶務課長 港南幼稚園につきましては、先ほどご案内させていただきましたが、来年度は30名まで拡大する予定です。

○小島委員 30名ではかなり少ないのでは。芝浦幼稚園も港南幼稚園も、この数年は3歳児の児童数は増えるわけでしょう。

○教育政策担当課長 当面は人口が増えると予想しているのですけれども、私立幼稚園側の方との協議の中に、当初の見込みを大幅に超えるような幼児人口の増加が見込まれた場合には、私立と協議をした上で対応を検討するという形になっていますので、その時点で私立側と協議という形になるかと思います。

○教育長 先ほど小島委員が幼児教育を受ける権利という話をされましたけれども、本当にそのとおりだと思います。幼児教育を受ける権利、これをやっぱり保障していかなければならないというのは大前提だと思います。今日の報道あたりを見ますと、小学校の35人学級が来年度はなくなりそうだ。また、幼保一体化の問題については、2013年から3年保育——つまり、保育園でも3歳児からの教育の方向性はしていかなければならないというような報道というか、政府からの話が出ていたようです。これは国の調査研究機関とか、そういったところでも3歳児からの教育というのは、幼児教育として保育園でも幼稚園でもしっかりやっていかなければならないという方向が出ております。

そういう意味で、受けられないというのは何とかしなければならないので、その辺については、事務局もまた一段の努力をして進めるしかないのだらうと思うのです。また、人口が減ってきたときにはそれは減ったときのことで、それは公・私立の幼児教育のアクションプログラムの中にもしっかり示しているとおり、公立の方で調整を図るのだということを明記しておりますので、その辺もはっきりとどういう道筋で具体的にできるのかということ、こういうものを私立側に提案して、やはり今は受けられないでいるということの解消は図っていかなければならない。

これは今、保育園の方も待機児童、さまざまな私立の方の誘致、あるいは暫定保育施設ということで区も懸命になってやっていて、しかし、それでも人口増に対応できなくて、まだ200人を超える待機児童が港区にいるということ。しかし、それを解消するために努力しているわけです。教育委員会は教育委員会として3歳児教育、そういったものをしっかりと同様な形でしていかなければならない。私立幼稚園との調整というのは、そんなに簡単なことではもちろんありません。今年も本当に担当課長を初め事務局の職員に一生懸命やってもらった結果、拡大ができたわけですけれども、またさらに努力を重ねて私立側にもしっかりと認識してもらって、教育を受けられる権利というものをしっかり保障していくというこの姿勢が大事だと思います。また頑張りたいと思います。

○小島委員 よろしくをお願いします。

○庶務課長 ちなみに抽選日以降、辞退される方がおられますので、それをご報告いたします。全体で5名いらっしゃいまして、内訳を申し上げますと芝浦、高輪、白金台、港南、にじのはし、そ

の5園でいずれもお1人ずつ辞退の方がいらっしゃいました。辞退されますと抽選に漏れた方に順位をつけさせていただいておまして、順位順にどんどん繰り上げという形をとらせていただきました。

以上でございます。

○小島委員 先ほど「3歳児で入れなくても4歳児では入れるでしょうね」と言ったのはどこでしたか。芝浦幼稚園でしたか。3歳児でだめで、4歳児もこの数字を見ると大丈夫かなと感じますが、それはどうするということでしたか。

○学務課長 例年3歳児の応募が多くて、4歳児になったらどうするのだろうというので心配はしていたのですが、大体定員近辺でおさまっているというのがこれまでの現状でございます。ただ、芝浦幼稚園は3歳児の申し込みが芝浦海岸地域の方が非常に多いですので、場合によっては4歳児も同じ芝浦を申し込んでくる可能性はあると思いますので、時間もありますので検討させていただきたいと考えております。

○小島委員 4歳児も50、38ですものね。そんなに余裕があるわけではない。来年のことだから検討していただいて、芝浦幼稚園は物理的にもう1部屋ぐらい確保できるのではしたか。

○学校施設計画担当課長 芝浦幼稚園につきましては新築でできたばかりでございます、保育室は5室という形ですので、物理的にこれから新しくつくるとするのは若干厳しいものがあるのではないかなと思っております。

○小島委員 かなりぜいたくにできている感じなので、部屋を少し小さくするとかして確保できませんか。

○学務課長 教室の物理的な部分というのはなかなか困難な面はあると思うのですが、制度上、幼稚園のクラス編制というのは1学級35名までになっております。ですから35人の子を1人の先生が見るとするのはなかなか難しいと思いますけれども、その辺で何か工夫できる点があればやっていきたいと考えております。

○小島委員 いずれにしてもこの数字を見ると、確かに芝浦の保護者の方が心配するのは当然だと思いますので、よろしく願いいたします。

○半田委員長職務代理者 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

## 2 港区立麻布運動場の休場について

○半田委員長職務代理者 それでは次に「港区立麻布運動場の休場について」。生涯学習推進課長、説明をお願いいたします。

○生涯学習推進課長 それでは、資料ナンバー2をご覧ください。港区立麻布運動場の休場についてでございます。

かねがね麻布運動場の野球場でございますけれども、排水がよくないということで改修につきまして区民の方からご要望がございました。22年度予算がつきましたので、この日程で工事を行いたいと思っております。

休場する期間でございますけれども、22年12月29日から23年3月18日を予定しております。ただし、12月29日からは年末のお休み、それから1月1日から2月28日までは、通常、芝の養生のための休止期間ということで本来お休みの期間でございます。そこに3月1日から18日、ここを特別に休場させていただきまして工事を実施したいと考えております。

周知方法につきましては、広報、それからキスポート、ホームページ等を利用しましてお知らせをしております。よろしくお願いいたします。

以上です。

○半田委員長職務代理者 ただいまの説明に対してご質問はございますでしょうか。

○澤委員 使っている区民の皆様からそういう要望が出て、それが改善されるということなので非常にいいことだと思います。これは今の芝を全面的に張りかえるということなのですか。

○生涯学習推進課長 昨年度、グラウンドの改修設計ということで設計委託をしまして、こちらに報告書が出ておりますが、土質が悪いということで表層土と中層土を全部取りまして、中層土に改良土を混ぜて全体に敷き直す工事と、それから中央に大きな排水口が入っておりますが、それにプラスをして化学繊維の排水口を内野面に敷設するというような工事です。ですので、芝は一たん外してもう一度張りかえるという工事と聞いております。

○教育長 そうか、内野だけなのですね。

○半田委員長職務代理者 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

### 3 港区総合型地域スポーツ・文化クラブ体験イベント（三田地域）の実績について

○半田委員長職務代理者 次に、「港区総合型地域スポーツ・文化クラブ体験イベント（三田地域）の実績について」。生涯学習推進課長、説明をお願いいたします。

○生涯学習推進課長 資料ナンバー3をご覧ください。

11月21日（日曜日）に、三田地域で総合型地域スポーツ・文化クラブ体験イベントを実施いたしました。その結果を報告させていただきます。

当日はお天気もよく、午前10時から午後3時30分までの間で、三田中学校を使いまして実施をさせていただきました。実施種目につきましては、キッズテニスから手芸まで7種目を実施させていただいております。参加人数につきましては、延べ102名でございました。

今後も総合型を立ち上げたいという希望の地域を中心に、継続してこういったイベントを実施していきたいと思っております。

以上です。

○半田委員長職務代理者 ただいまの説明に対してご質問はございますでしょうか。

○澤委員 総合型地域スポーツ・文化クラブということで、前回は高松中学校の報告がありました。今回は三田中学校ということで、そういう地道な努力を積み上げていただいているので、延べ人数で100名以上の参加ということです。皆さんにいろいろ喜んでいただいているという印象ですか。

○生涯学習推進課長 種目によって、ねらって来られた方もいらっしゃいました。私の個人的な感

想ですけれども、特にバランスボールの25名というのは、なかなかバランスボールを個人で行うのはハードルが高いけれども、体験してみたいなというような女性の方、特に主婦層の方がお子さんと一緒に体験に来ましたということで、会場は小体育館を利用してやっておりましたが、満員御礼でございました。

それからグラウンド・ゴルフですけれども、やはり地域によってグラウンド・ゴルフをなさっている地域とそうでない地域があって、高松中学校ではグラウンド・ゴルフに何十人もお見えになりましたが、三田中学校ではちょっと少なめだったというようなことがございます。やはり、地域によってちょっと違うというか、そういった傾向があるように思います。

○澤委員 ありがとうございます。

○半田委員長職務代理者 102名の参加者の客層ですが、お母様と子どもの親子が多かったとか、子どもが多かったとか、特徴を教えてくださいませんか。

○生涯学習推進課長 全体で59名の方がアンケートをお書きになっていますが、その内訳では、10代が33名。10代というのは、10代よりも下の方も入っていて33名です。20代以降の方が26名ということですので、まあまあ半々ぐらいという形でしょうか。

○半田委員長職務代理者 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

#### 4 生涯学習推進課の11月事業実績と12月事業予定について

○半田委員長職務代理者 次に「生涯学習推進課の11月事業実績と12月事業予定について」。この件につきましては資料の配布をもって報告といたしますので、後ほど資料4をご覧くださいませようお願いします。

特に何か報告することはございますでしょうか。

○生涯学習推進課長 11月分と12月分の実績表と予定表をご覧いただきたいと思いますが、新しい耳なれない種目が出てきております。「ノルディックウォーキング」というものですが、ニュースポーツの部類に入りまして、スキーのストックのようなものを持ってウォーキングをする、そういうスポーツでございます。推進力がついてかなり早く歩ける。坂も楽に上れるというような競技です。ぜひ興味のある先生方がいらっしゃいましたら、次の機会にご参加いただければと思います。

○澤委員 体力が要りそうですね。

○小島委員 スキー板がなくてストックで。

○生涯学習推進課長 スtockだけでございます。

○小島委員 どんな効果がありますか。

○生涯学習推進課長 ふだん使わない筋肉を使うということで、腕をよく使い、それから歩くのが苦手な方も楽に気持ちよく歩けるということで、終わった後に皆さんさわやかな笑顔でお帰りになったというような報告をいただいております。

○教育長 これは夜にやったのですね。

○澤委員 2回あって。

○教育長 夜6時半から8時半という、夜にやった理由は何かあるのですか。

○生涯学習推進課長 地域スポーツ教室は、地域の方に参加をしていただくということで、土・日の昼間やる場合もありますし、平日であれば夜の場合もございます。特に12月の六本木地域のノルディックウォーキングは、六本木中学校から有栖川宮記念公園周辺ということで、夜景を楽しみながら汗をかけるということで、コースを大変綿密に決めて実施をしたと聞いております。大変きれいだったと、私は参加していませんが、そういう報告を受けています。

○半田委員長職務代理者 かなり寒い時期で汗をかくということで、例えば何か着がえとか防寒とか、どういう服装で伺ったらよろしいでしょうか。

○生涯学習推進課長 募集のチラシには運動のできる服装をして、ウォーキングシューズを履いて来てください。あと、タオルを用意してくださいということで、この季節ですとまだ耳が冷たいとか手が冷たいとかというような季節ではないので、通常のスポーツの格好でいいと思います。これからちょっと寒くなると、ランニングもそうですが、手袋と耳あてが必要になってくるかもしれません。

○澤委員 11月9日の区立幼稚園PTA連合会講演会は、158名と大変大勢の方にお集まりいただいたように思うのですけれども、どのような講演会だったのでしょうか。

○生涯学習推進課長 前回の教育委員会で教育長の方からご質問いただきましたけれども、幼児期における発達心理の分野の講演会だったと記憶しております。

○澤委員 この間、麻布区民センターでの教育推進月間事業では、幼稚園の保護者の方、ご自分のお子さんの演技のときだけどっと入ってきて、終わったら引き上げてしまった。瀧井先生のお話は保護者の方にこそ聞いていただきたい内容だったのですけれども、残念ながら保護者の方は極めて少なかった。もうちょっと瀧井先生のお話も聞いていただきたいと思いました。あのとき私が疑問に思ったのは、要するにPTA連合会に呼びかけも何もなかったのかなということです。

○教育政策担当課長 事前の周知方法等、本来であればそういった形で、今おっしゃったような形でやるべきだと思うのですけれども、今回そういった形でそういう方法をとらなかったものですから、今後検討させていただきたいと思います。

○澤委員 PTAの方がそっぽ向いたわけではない。学校の先生は結構目立ったのですけれども、残念ながら保護者の方が極めて少なかった。

○生涯学習推進課長 11月9日のこの講演会は、時間帯と曜日を見ていただきますと平日の午前中なので、保護者の方は、ご自分のお子さんを幼稚園に預けて、それより小さいお子さんは、私どもで一時保育をつけて実施をしますので、参加しやすい時間帯であるということは確かです。

○澤委員 確かに幼稚園の保護者についてはね。

それからもう一ついいですか。先ほどの三田の行事に関連するのですけれども、12月の総合型地域スポーツクラブの視察は、世田谷のしろやま倶楽部と東深沢スポーツクラブの2カ所へ行くということですか。

○生涯学習推進課長 この間の土曜日に視察に行っていました。

○澤委員 これは何か特徴があって視察に行かれたのですか。当然、これからうちでやろうとする  
ことの参考ということで行かれたのでしょうかけれども、何かいろいろ学んだことがあったとか、そ  
の辺はどうなのでしょう。

○生涯学習推進課長 世田谷のしろやま倶楽部につきましては、通常の総合型の拠点がどこでも中  
学校の拠点多いのですけれども、ここは大変小規模な小学校を使った総合型のクラブが立ち上が  
ったところ。それがまず特徴的だということと、それから規模が大変小規模で六本木とちよ  
うど同じぐらいの大きさです。会員数が300名ぐらいということで、六本木が今219名です  
ので、かなり近い大きさであるということで、まずしろやま倶楽部を選定いたしました。

東深沢スポーツクラブは、これは中学校の改築とともにスポーツクラブを立ち上げたところ  
でございます。大変大きな規模のクラブでして、会員が今800名を超えるというところ  
です。大変歴史が長いクラブです。クラブ同士の連携をどのようにしているかとか、それ  
から地域の人たちへの周知をどうしているかとか、運営をするに当たって地域の人材の  
参画をどのように求めているかというところで参考になるのではないかとということで  
こちらを選びました。

○澤委員 そうですか、800名を超えるような会員ですか。分かりました。ありがとうございます。

○半田委員長職務代理者 よろしいですか。

## 5 生涯学習推進課の各事業別利用状況について

○半田委員長職務代理者 それでは次に「生涯学習推進課の各事業別利用状況について」。この件に  
つきましては資料の配布をもって報告いたしますので、後ほど資料5をご覧くださいませ  
うようお願いいたします。

特に何か報告することはありますか。

○生涯学習推進課長 ございません。

## 6 図書館・郷土資料館の11月行事実績と12月行事予定について

○半田委員長職務代理者 次に「図書館・郷土資料館の11月行事実績と12月行事予定について」。  
この件につきましても資料の配布をもって報告いたしますので、後ほど資料6をご覧ください  
ますようお願いいたします。特に何か報告することはございますか。

○図書・文化財課長 資料6でございますけれども、3枚おめくりいただきまして11月の郷土資  
料館実績表をご覧くださいませでしょうか。

一番下のところ、表の下の部分に書いてございますけれども、22年度特別展「江戸図の世界」  
を10月23日から11月28日まで1カ月をちょっと超えるぐらいの期間になりますけれども、  
延べ37日ということで実施をさせていただきました。来館者数の方は3,030名ということで、  
なかなか多くの皆様にご覧いただいたということ。昨年の特展が徳川家霊廟の関係でかなりお越

しいたいたのですけれども、それに近いぐらいの数字の実績が出たということで担当課としても非常にうれしく思っております。

実績表の方ですけれども、この間、展示とあわせて特別展の展示の説明会——現地で、学芸員が来場していただいた方へ直接説明をさせていただくというような説明会を2回やっております。11月3日と23日でございます。それぞれ70名弱の方がお越しいただいて、説明を聞きながらご覧いただいたということでございます。

それとあわせて今回の特別展に合わせた資料館講座ということで、11月5日と12日、それから20日と3回、講座の方を開催させていただきました。こちらの方は、基本的には事前申し込みいただいて、3回セットといたしますか、ご参加を3回していただくような形をお願いしてやっているものです。その日によって参加のご都合がありますので若干人数は違いますけれども、各回とも20名から25名に参加をしていただきました。

特に3回目につきましては、1回目、2回目は郷土資料館といたしますか、三田図書館の会議室でスライド等を見ながら聞いていただいたということですが、3回目につきましては、切り絵図といたしまして江戸図をかなり折り畳んで小さくしたような、今の地図帳のようなものですが、それを手に実際に芝とか三田のかいわい、資料館近辺ということになりますけれども、約5キロを一緒に切り絵図を見ながら歩いてもらうという催しも行ったところでございます。

あと今回、特別展の方ですけれども、図録を作成してございますけれども、こちらの方も、ここには書いてございませんけれども、約500冊ほど特別展の期間、来場された方等にお求めいただいたということで、この数もかなり今回数字が多かったなと思っております。

それから1枚おめくりいただきまして12月の予定でございますけれども、郷土資料館の方は特別展の翌日から展示がえということで休館をさせていただいておりますけれども、先週の土曜日11日からまた新たに展示の方を行いまして、現在、今月11日から「指定文化財展」ということでコーナー展をやらせていただいております。これも先般、この委員会でもご報告させていただきました。今年度も港区の指定文化財に4件指定させていただきましたけれども、そういった指定文化財のパネル展示を初めとしまして、港区の指定文化財の展示というような形でやっているところでございます。説明は以上です。

○半田委員長職務代理者　ご質問はございますか。

○小島委員　郷土資料館の12月の予定表で、11日の土曜日の内容のところなのですが、勾玉とか管玉とか、これは何と読むのですか。

○図書・文化財課長　管玉（くだたま）だったと。

○小島委員　管玉（くだたま）ですか。中学、高校の歴史の時間で習った気がするのですが、忘れてしまいました。

○図書・文化財課長　古代アクセサリーづくりにつきましては、年間を通じてそういった講座をやっております、回によって、今回の管玉ですとか、あと勾玉を作ったりということで、回によって中身を変えて実施をしてございます。

○澤委員 江戸図というのは随分人気があったのだなという印象ですね。確か三田小学校の10周年の資料室にこのくらいの江戸の絵図の冊子がありました。切り絵図というのはこの間も三省堂へたまたま久しぶりに行ったら、結構小さな本だとかありました。今、はやっているのですね。結構いろいろ出ていました。あれを見ると江戸時代の日本の文化レベルは結構高かった。正確さは何も言えませんけれども。それで、これだけ3,000人以上。

それから、先ほどの図録を販売していたのですか。

○図書・文化財課長 特別展の都度、図録を作成いたしておりまして販売をさせていただいております。

○澤委員 それも結構たくさんお求めいただいた。だから、今回本当に区民、区民だけではないのでしょうかけれども、皆さんの興味のあるテーマだったのですね。この切り絵図で歩いたなどというのもおもしろい。

それに関連して、講座というのは、基本的には同じ人が3回受講しているということで、年齢構成というのはどのような人が受けていったのですか。図書・文化財課長がもし把握していれば教えていただきたい。

○図書・文化財課長 講座の方ですけれども、私も3回の中で1回目に顔を出して、実際に参加者の方と一緒に聞いておったのですけれども、年齢的にはやっぱり比較的年齢の高い方が多かったと記憶しております。ただ、割と30代の方もいらっしゃいました。やはり江戸図ということでご興味のある方は若い方もいらっしゃるようで、先ほどのお話ありました3回目の区内をめぐって歩くという講座なのですけれども、今の話の関連になってしまうのですが、年齢層がかなり幅が広がったものですから、歩く早さも違い、また興味のある場所もそれぞれのため、一団となって歩くのが難しいという、なかなかそういうのも経験になったということ聞いております。

○澤委員 これはもちろん、講座の話をしたのはうちの学芸員の方ですか。

○図書・文化財課長 講座につきましては、1回目と3回目の歩く講座につきましては郷土資料館の学芸員がやりまして、2回目につきましては外部の方を呼んで講座をやっていただいたということでございます。

○澤委員 ありがとうございます。

○半田委員長職務代理者 よろしいでしょうか。

## 7 図書館の11月分利用実績について

○半田委員長職務代理者 次に「図書館の11月分利用実績について」。この件につきましても資料の配布をもって報告いたしますので、後ほど資料7をご覧くださいませようお願いします。

特に何かご報告することはございませんでしょうか。

○図書・文化財課長 ございません。

## 8 12月指導室事業予定について

○半田委員長職務代理者 次に「12月指導室事業予定について」。この件につきましても資料の配布をもって報告いたしますので、後ほど資料8をご覧くださいませようお願いします。

よろしいでしょうか。

「閉 会」

○半田委員長職務代理者 本日予定している案件は全て終了しましたが、庶務課長、その他何かございますでしょうか。

○庶務課長 特にございません。

○半田委員長職務代理者 それでは、これもちまして閉会といたします。

平成22年も残り少ないときを迎え、特別な事情がない限り本定例会が今年最後の教育委員会となります。皆様におかれましては、年末にかけて何かとお忙しい毎日が続くかと存じます。どうか健康には十分留意され、ご希望に満ちた輝かしい新年を迎えられますよう、心からご祈念申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

次回は1月11日火曜日、午前10時からの予定です。どうぞよろしく願いいたします。

(午後3時54分)

会議録署名人

港区教育委員会委員長職務代理者 半 田 吉 恵

港区教育委員会委員 小 島 洋 祐